

【様式】

令和3年度 学校マネジメントシート

学校名 (昴学園高等学校)

1 目指す姿

(1) 目指す学校像		総合学科、全寮制などの特色を生かして次のような人材育成や学校づくりを目指す。 ○何事にも誠実にかつ意欲的に取り組むとともに、思いやりを持って人と接することができる人材の育成 ○地域との連携を深め、地域から信頼されるとともに、地域から必要とされる開かれた学校づくり
		○基礎学力を確実に身に付け、希望進路の実現のために自ら主体的に学習に取り組んでいる。 ○地域と連携した特色ある取組や人権及び国際交流活動に進んで取り組み、共感する心や自尊感情等、豊かな心が育まれている。
(2)	育みたい児童生徒像	○目指す学校像等の目標実現に向かって、同僚性を発揮しつつ支え合い高め合うことができる教職員集団 ○生徒の成長を自らの喜びとして、いきいきとやりがいを持って働くことのできる教職員
	ありたい教職員像	

2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待	<p><生徒> 教員や仲間と楽しく学び合い活動する中で自分のよさや可能性を見出し、存在感や自己実現の喜びを実感したい。</p> <p><保護者> 丁寧な教育の充実をさらに進め、子どもたち一人ひとりが様々な成長の姿を見せることを期待している。</p> <p><地域社会> 昴学園の魅力化を進めることで、高校の存続から波及し、地域の活性化へと繋げたい。</p>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	連携する相手への要望・期待
	<p><家庭> 安心・安全な学習環境の中で、きめ細やかな指導により、子どもが自主性や自律性を身に付けることができる。</p> <p><中学校> 全寮制のシステムを生かし、家庭環境等、様々な課題を抱えた子どもが生き生きと学べる場を提供してほしい。</p> <p><地域社会> 地域の活性化のために、学校の魅力化を図り、学校を存続させてほしい。</p>	<p><家庭> 本校教育方針への理解と協力、特に双方向の連携を大切にしてほしい。</p> <p><中学校> 基礎学力の定着。継続的・効果的な指導のため、個々の生徒の詳細な情報提供をお願いしたい。</p> <p><地域社会> 本校の教育活動を理解し、引き続き町事業等を通しての支援をお願いしたい。</p>
(3) 前年度の学校関係者評価等	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着指導に関しては一定の成果が出ている。学校全体の取り組みとして継続をしていてもらいたい。 ・昴学園は、全寮制が大きな魅力の一つである。下宿と寮の違いを明確に示したら、中学生とその保護者に寮の良さが伝わるのではないかな。 ・寮生活において、委員会等の活動を活用し、生徒自身がかつ主体的、能動的に動けるようにしてほしい。 ・学校の魅力発信について、教職員だけでなく生徒や保護者を含め発信できるようにしてほしい。 	

(4) 現状と課題	教育活動	<p>○多くの生徒が自主性や自律性、協調性等、社会生活を営む上で必要な力を身につけて卒業していく。しかし一方で、自制心、意欲、忍耐力等の欠如から、寮生活や学校生活に適応することが難しい生徒もいる。</p> <p>○学力の幅が広く、基礎学力の確実な定着から大学進学に必要となる学力の育成まで幅広い支援が必要である。また、自ら課題を発見し、その解決策等を調べ、まとめて発表するなど、変化の激しいこれからの社会を生き抜くために必要な主体的な課題解決能力のより一層の育成も必要である。</p> <p>○卒業生の約6割が進学し、そのうち5～6割が専門学校へ進学する。しかし、中には安易な進路決定もあり、主体的な進路選択能力の育成を中心としたキャリア教育の充実と推進が課題となっている。</p>
	学校運営等	<p>○課題発生時に教職員が機動的かつ組織的に対応できる強みがある。</p> <p>○入学する生徒の多様化が進行していることから、より一層の生徒理解の深化と多面的な指導力の向上を図ることが必要である。</p> <p>○やりがいを持って働くことができる職場の環境づくりを目指して、教職員の負担の軽減を図るとともに、学校が抱える課題に対して教職員相互の対話と議論が必要である。</p> <p>○再募集が続いている。少子化が進む中、志願者を確保するため、学校のあり方について検討を進める必要がある。</p>

3 中長期的な重点目標

教育活動	<p>○希望進路の実現し、社会生活を行っていくうえで基盤となる基礎学力の確実な定着と、主体的に学ぶ力の向上を目指す。</p> <p>○地域と連携した特色ある取組や人権及び国際交流教育の成果を活かして、共感する心や自尊感情等豊かな心を育てる。</p>
学校運営等	<p>○目指す学校像等の目標実現に向かって、同僚性を発揮しつつ支え合い高め合うことができる組織づくりを進める。</p> <p>○校務の効率化や職場の環境整備に努め、総勤務時間の縮減を目指すとともに、働きやすい環境づくりを進める。</p> <p>○本校の特色ある教育システムや内容等について、活性化の観点から今日的な意義や役割を検証し、強みは伸ばし、弱みは改善する。また、情報発信のあり方について工夫する。</p>

4 本年度の行動計画と評価

(1) 教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「教育課程・学習指導」「キャリア教育(進路指導)」「生徒指導」「保健管理」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重要取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
学習活動の充実	<p>グループ学習等をとおして、他者と協働して課題を解決していく学習を取り入れた授業を実施する。また、授業内容全般に関して基礎学力の定着を目指す。</p> <p>【活動指標】 系列体験学習と学習成果発表会の実施</p> <p>【成果指標】 総合学科での学びの成果の環流年間2回実施</p>	<p>系列体験学習については行うことができた。学習成果発表会はオンラインにて実施できた。異校種との連携の授業については、規模を縮小しての実施となった。</p>	

生徒指導の充実	<p>個別面談や生徒会行事活用や、寮との連携を通じて、教員間でしっかり情報共有し、生徒個々への充実した対応、支援を目指す。特にいじめについて重点的に取り組む。</p> <p>【活動指標】学期ごとのいじめアンケート実施</p> <p>【成果指標】いじめ件数0</p>	<p>・いじめ・コロナアンケート</p> <p>7月に実施</p> <p>3月に実施</p> <p>・いじめ件数</p> <p>3件認知</p> <p>・寮との連携</p> <p>寮行事に施錠巡回実施</p>	
進路指導の充実	<p>各学年に応じたキャリア教育の充実をはかり、生徒の進路実現につなげる。</p> <p>「進路マップ」の活用の充実を図り、基礎学力の向上につなげる。</p> <p>【活動指標】キャリア教育の基礎となる進路指導室・掲示板の充実。</p> <p>基礎学力診断テストの結果に基づき、D3生徒の個別補習の取組み。マナトレを活用し、自宅学習の習慣を身につける。</p> <p>【成果指標】</p> <p>基礎学力診断テストのD3生徒の40%削減</p> <p>アンケートによる「基礎力講座」の取組みの満足度を80%以上にする</p>	<p>基礎学力診断テストは、GTZのD3生徒が第1回は、52.2%が第3回は29.8%になり、約42.9%削減した。基礎力講座の取組みの満足度は、1年生64.4%、2年生68.9%であった。昨年度より20%ほど下がった。しかし、ほとんどの生徒が基礎学力講座を継続してほしいと答えている。この基礎力講座のみで成績向上に繋がると考えている生徒が多い。</p>	
生徒の心身の健康管理	<p>生徒が心身の健康を自己管理できる能力の育成を目指す。</p> <p>【活動指標】命を大切にする観点から、相談機能を活かした指導と助言による保健指導の実施</p> <p>【成果指標】保健室来室者の減少（前年比）</p> <p>生活習慣が改善された生徒数の増加</p>	<p>保健室来室者(4~1月)1人あたり4.56回。(R2年度は1人あたり4.09回。)生活習慣が改善された生徒は、減少した。(朝食をとる割合4月60.5%→10月52.9%、全国平均81.9%)</p>	
人権学習の充実	<p>互いに尊重しあい、違いを認めあうとともに、生徒一人ひとりの自尊感情を高め、自己実現を図ることができるよう、人権感覚あふれる学校づくりにつとめる。また、自分の人権・他人の人権、双方を大事にできる人権感覚を育てる。</p> <p>【活動指標】年2回の全校討論会及び、各学年における学期に1回以上の人権学習の実施。</p> <p>【成果指標】人権意識を高めた生徒の割合75%以上。</p>	<p>全校講論会を2回、各学年3~4回の人権学習を実施した。アンケートによると、人権意識を高めた生徒の割合が85%であった。</p>	
寮活動・寮教育の充実	<p>寮生活を通じて、一人ひとりが生活的・精神的な自立、協調性・コミュニケーション能力・自己表現力の伸張、忍耐力など人生をしっかりと生き抜いていく「生きる力」を身につける。</p> <ul style="list-style-type: none"> 寮内の「整理・整頓・掃除」に取り組む。 年間をとおして、寮行事、委員会活動、サークル活動、学習タイムなどを寮生が主体的に実施する。特に、大台町の自然散策と学習タイムの充実を重点的に取り組む。 大台町のボランティア活動に積極的に参加する。 	<p>・昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症予防対策のため、様々な対策を講じた。また、寮生に様々な情報や対策を周知し、正しい情報を、正しく理解し、活用することを醸成した。</p> <p>・寮内の「整理・整頓・掃除」の徹底がまだまだ不十分であった。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症拡大</p>	

		に伴い、地域のボランティア活動や寮行事(パーティ、サークル活動など)の一部を計画通り実施できなかったが、大台町主催の「空き家のリノベーションワークショップ」、「動画編集口座」等や学校や寮主催の「ナイトスクール(2回外部講師の講演)レガッタ、登山、ハイキング、サークル活動に参加した。 ・1年間を通じて、学習タイムや大学進学希望者対象の特別学習(本年度より実施)を行った。
--	--	--

改善課題

- ・保健室の来室者が増加し、様々な要因が考えられるが、甘えや怠けともとれる保健室利用も一部見られる。心身の健康を自己管理する力を伸ばすことを目的とし、保健室のルールや目的、帰宅の判断を明確化していきたい。
- ・いじめ件数0をめざし、生徒指導部からいじめ防止に向けた啓発を学期ごとに1回以上行う。
いじめ・コロナアンケートの頻度を増やし、現状把握に努め、いじめ初期段階時に指導できるようにする
- ・さまざまな寮行事を実施することで、生徒の自主性・協調性などを育む機会を創出しているものの、生徒同士の話し合いで課題を解決する能力が低いと感じる。寮生の状況に応じたキャリア教育を推進することで、生徒が自己肯定感を育むことができるよう指導する。

(2) 学校運営等

学校運営等に関する項目は、教職員や施設等を対象としたものとするのが望ましい。

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」: 定期的に進捗を管理する取組 「◎」: 最重点取組

項目	取組内容・指標	結果	備考
情報発信	生徒の活躍する様子の積極的な情報発信につとめる。 【活動指標】学校ホームページ等の活用と、マスコミなどへの積極的な資料提供による学校外への情報発信 【成果指標】ホームページの閲覧回数月平均 2,000pv以上	成果指標の達成はできた。インスタグラムの登録者数は548名、閲覧者数は1500名であり、学校外への情報発信も成果が出ている。	
安全で快適な校舎環境	電気、給水、排水、空調、暖房設備等の校舎、生徒寮及び職員寮設備の維持メンテナンスを的確に管理するために、事務室営繕担当、学校教育技術員、舎監、寮務員など関係者の情報共有を行う。 【活動指標】 情報共有による修繕・整備箇所等の把握 【成果指標】 ・危険箇所等の早期の対応・修繕 ・建物・設備・備品等の状態把握に努めて、計画的な維持メンテナンスが行える。	生徒寮の維持メンテナンスについて要項を定め、関係職員の共通認識を高め、早期修繕に努めた。	

<p>学校活性化の方向性の確立</p>	<p>活性化協議会の助言と指導の下、学校の活性化と志願生徒数の増加を目指す。</p> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外PR活動への参加 年3回 ・校内ワーキングによる活性化・魅力化の協議を定期的実施 <p>【成果指標】志願生徒数の増加(昨年比)</p>	<p>学校 PR は新型コロナウイルス感染症の影響でオンライン説明となり、参加者に対して説明を行った。</p>	
<p>教職員の働き方の見直しと負担軽減</p>	<p>業務のあり方を見直し、教職員の負担軽減を図ることで、働きやすい職場環境を実現する。</p> <p>【活動指標】()内の値は令和2年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校日…1日/月設定。 定時に退校できる職員の割合現状維持。(95%) ・部活動休養日…1日/週設定。 予定通り休養日を設定した部活動の割合100%を目指す。(100%) ・1時間以内に終了する会議の割合65%を目指す。(45%) <p>【成果指標】()内の値は令和2年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人当たりの月平均時間外労働時間…6時間(7.8時間/月) ・月45時間を超える時間外労働者を出しません。 ・年360時間を超える時間外労働者を出しません。 ・一人当たりの年間休暇取得日数…19.7日(19.7日/年) 	<p>【目標設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定時退校 95% ・部活動休養日 100% <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平均時間外労働 7.3時間/月 ・月45時間超 12人(延べ人数) ・年360時間超 2人 ・休暇取得日数 19.5日/年 	
<p>改善課題</p>			
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力の情報発信と校内の活性化に努め、志願者数の増加を図りたいと考える。 ・平均時間外労働は昨年より減少したが、さらなる減少には業務の見直し等を行い、時間外労働時間の削減を目指したい。 			

5 学校関係者評価

<p>明らかになった改善課題と次への取組方向</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全寮制が大きな魅力であるという PR はしっかりできているが、学習面でのPRに力を入れてはどうか。寮生活と学習面での成果を伝えることで、中学生と保護者に昴学園の魅力が伝わるのではないか。 ・HP およびInstagramでの発信は着実に成果がでていますが、特色ある系列の授業や昴学園ならではの教育活動および地域との連携した活動を、新聞等の報道機関への取材および掲載の広報活動にも力を入れるべきである。
----------------------------	--

6 次年度に向けた改善策

<p>教育活動についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学力の定着指導に関しては一定の成果が出ており、学校全体の取り組みとして、さらなる進化を図っていく。 ・コロナ禍の中においても寮における自主的活動を継続させていく。他者との接し方や共用棟での過ごし方等について指導を行い、生徒の心身の育成と人間力の向上に努める。
<p>学校運営についての改善策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校の魅力発信について、教職員だけでなく生徒や保護者を含め発信できるようにする。 ・勤務の在り方を見直し、教職員の負担軽減を進める。